

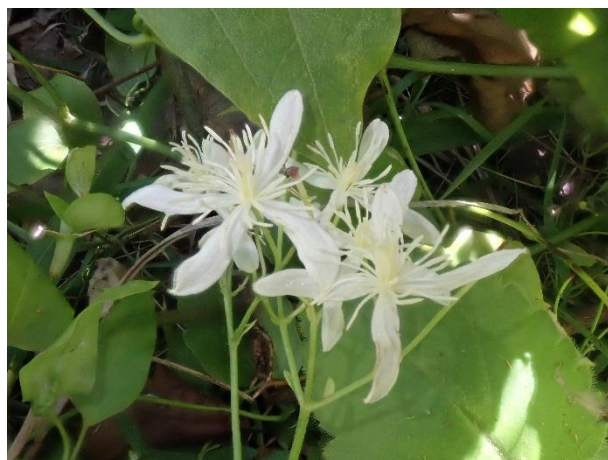
2021/10/8
神代植物公園

植物多様性センターの「センニンソウのヒゲ」

火山性草地エリア向かいの伊豆極相林の園路沿いと高茎草地エリアでセンニンソウが実をつけだしています。「センニン」の名の通り実をつける時期になると羽毛状の仙人の様な「ヒゲ」が生えてきます。このヒゲを風にのせて実を散布させます。センニンソウは、有毒の植物が多く属しているキンポウゲ科で、本種も毒を有しています。逆に、根は漢方として利用されると言われていますが、効能の有無には諸説あります。



つる性で他の植物に絡まりながら多くの花を咲かせる。



十字形の花弁のように見えるのは萼片で花弁はない。



葉は対生し、3~7枚の羽状複葉。



花が終わると花柱が伸び、白いヒゲが生えてくる。